

飛翔

第5号

平成28年11月27日発行

 発行
東大津高校 飛翔会
印刷
株式会社 ハン六


『第5号飛翔会報発刊によせて』

飛翔会会長 2期生 安見 成人

東大津高校同窓会員の皆様には益々ご健勝にて各方面でご活躍のことと存じ上げます。

平素は本校同窓会(飛翔会)の活動にご理解とご協力を賜りまして感謝申し上げます。本校は昨年(二〇一五年)創立40周年という節目の年を迎え、11月にはびわ湖ホールにて「40周年記念式典」が盛大にとりおこなわれました。

今の在校生やこれから後輩達にあって来られる校は立派な伝統校であることは間違いありません。ただ、私達のような初期の卒業生にとっては、「もう40年経ったのか」と早く過ぎた年月の方が頭をよぎり、感慨深いものです。この40年

の伝統を築きあげたのは1万6千人を超える一人一人の卒業生の努力の積み重ねであることは言うまでもありませんし、私達卒業生が築き上げた東大津高校が、今後更に進化し続けることは、卒業生である私達の純粋な願いであります。

40周年の記念事業として、我が校のPTAの方々が先頭に立って、学校・教育振興会協賛のもと、校内全教室の空調化工事がおこなわれました。これにより全ての教室において、夏は「冷房」冬は「暖房」の設備が整い、勉学に集中して取り組める環境ができあがりました。

同窓会からは「飛翔館(同窓会館)」の大会議室の空調機を新調させていただき、「時代の流れ」と言ってもいいかもしれませんが、地球環境も変化している現代には必要ないと思います。

同窓会の活動は4年に1度、卒業生全員に呼びかけ、同窓会総会を開催しております。総会時には毎回、親睦を図る為のレクレーションを企画し、世代を越えた新しい出会いや、懐かしい友との交流の場となっております。卒業生にとって東大津高校が自分自身の形成に大きな影響を受けた存在であることを尊重し、母校がこの先益々繁栄することを一緒に応援していきたいでしょう。

創立40周年記念式典のご報告

3期生 久保 博

昨年(平成27年)11月19日(木)午後13時より、本校40周年記念式典が滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホールにて開催されました。

県内他校の校長先生、本校歴代の校長先生、本校教育振興会、PTA役員の方々と共に同窓会からは安見会長ら、6名が出席させていただきました。

オープニングではジャズピアノの松永貴志さんが校歌をジャズ調にアレンジ

して演奏して頂きました。式典は「40年のあゆみ」をDVDで映し、静肅かつ盛大に行われました。記念講演ではびわこ成蹊スポーツ大学副学長の豊田則成教授が「こころとからだをつなぐこと」としてスポーツや生活においてメンタルがいかに大きく影響するかを、時折ジョークを交えて講演していただきました。

終盤には在校生をステージに上げ、ボイスパーカッションの指導をされ、とても盛り上がりしました。

次は50周年記念式典です。同窓会役員一同式典が成功裏に終わるよう出来る限りの協力をしていく所存です。



同窓会会報によせて

学校長 大田 祥登

同窓会会員の皆さまには、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育活動に、何かと御支援御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度四月より本校十六代目の校長として赴任しました大田祥登と申します。よろしくお願いいたします。

以前にも本校には、第三十四期生の学年主任として勤めさせていただき、今回は五年振りの復帰となり喜んでおります。

この五年間に校舎の耐震

化工事が進められ、生物室・美術室の南側にあった小さなビオトープは、駐車場と駐輪場になりました。昨年は創立四十周年の節目を迎え、びわ湖ホールにおいて記念式典を挙行し、記念事業として同窓会からはセミナーハウスのエアコンを二台新しくしていただくとともに、PTAの御協力により、すべての教室と特別教室にエアコンを設置していただきました。

また、グローバル社会で活躍できる人材育成を目的に、今年度より希望者による海外短期研修がスタートし、この七月十五日から十

一日間にわたりオーストラリアのケアンズ近郊の高校へ二年生二十四人が訪問して貴重な体験を積んできました。

東大津高校は先輩方から受け継いだ3Fの精神(今年度より校訓としました)や文武両道の向上心を受け継ぎながら、変化に富んだ社会に対応し、自ら道を切り拓く力を持った生徒を育成すべく日々新たなチャレンジを続けています。

同窓生の皆さまには、同窓会と本校のさらなる発展のために、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。